

(9) 四国



四国地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は改善傾向にある。

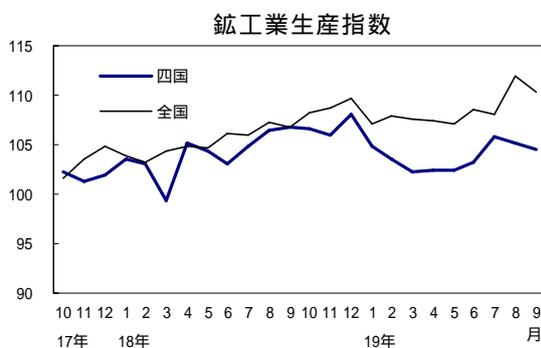
前回調査からの主要変更点

	前回（平成19年8月）	今回（平成19年11月）	
住宅建設	大幅に増加	大幅に減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

パルプ・紙は、雑誌などの非塗工紙の動きが鈍かったものの、塗工紙や板紙が好調であったことから、増加している。食料品・たばこは、猛暑の影響で清涼飲料水が好調であったため、増加している。電気機械は、携帯電話などに使う蓄電池や、開閉制御装置が堅調に推移したため、おおむね横ばいとなっている。化学は、輸出向けの触媒が生産調整されたものの、B T X（ベンゼン、トルエン、キシレン）は引き続き好調であったため、増加している。一般機械は、造船・鉄鋼業向け固定式クレーンのおう盛な需要に加え、化学繊維機械も好調であったことから、増加している。



- (備考) 1. 12年=100、季節調整値。
2. 平成19年9月の四国は速報値。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期比) (%)

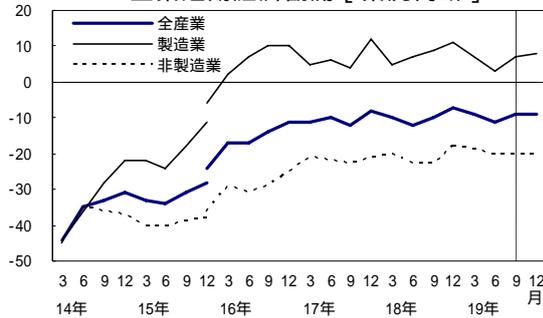
	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		4~6 月期	7~9 月期	7~9 月期	7~9 月期
パルプ・紙	13.3	1.8	4.5	0.0	8.1
食料品・たばこ	13.3	1.7	1.8	2.5	8.9
電気機械	12.8	0.4	0.7	2.7	31.0
化学	12.7	4.1	5.3	9.2	0.5
一般機械	11.3	3.7	2.0	6.0	1.2
鉱工業	100.0	0.9	2.3	1.6	1.2

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 7~9月期は速報値。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「苦しい」超幅が拡大している。

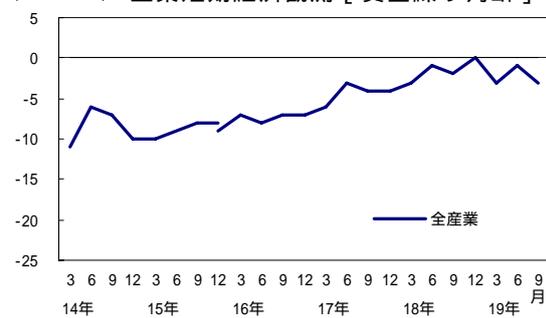
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

(%ポイント) 企業短期経済観測 [業況判断]



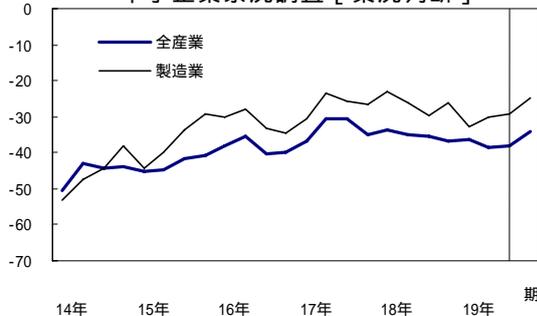
(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。19年12月は予測。
15年12月および18年12月は新・旧基準を併記。

(%ポイント) 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
15年12月および18年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。19年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月)[企業動向関連(現状)]

「西日本では、建設用クレーン・高所作業車の稼働は絶好調である。原子力発電所での点検補修等で大型クレーンの稼働も急上昇中であり、引き合いは相変わらず強い(一般機械器具製造業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

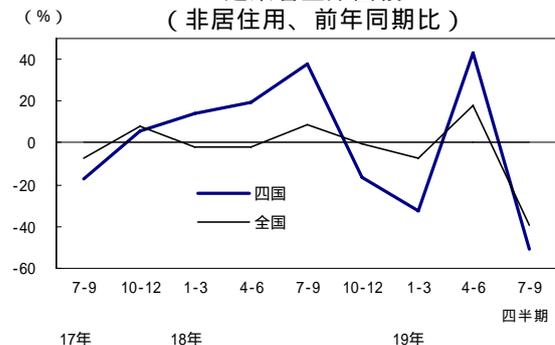
(3) 19年度の設備投資は前年度を大幅に上回る計画となっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	18年度実績	19年度計画
全産業	8.7	10.5 [10.2]
製造業	15.7	25.2 [23.9]
非製造業	2.5	4.6 [3.8]

(備考)[]は前回(6月)調査結果。

建築着工床面積
(非居住用、前年同期比)

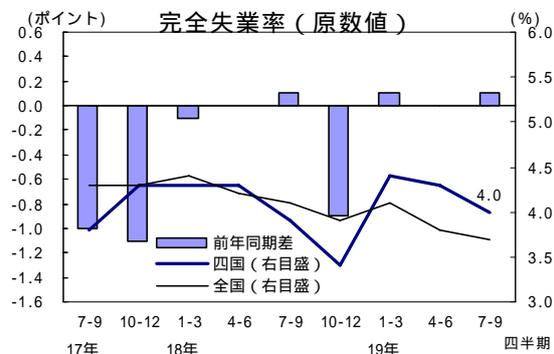
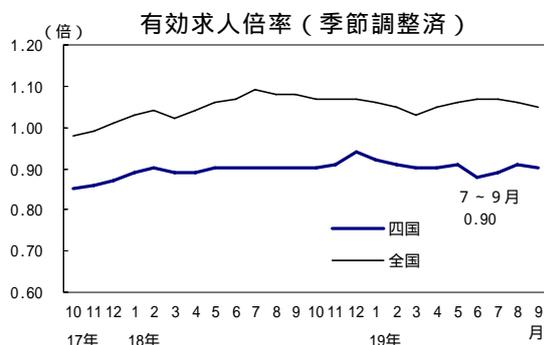


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は改善傾向にある。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前年同期と同水準となっている。



景気ウォッチャー調査（10月）[雇用関連（現状）]

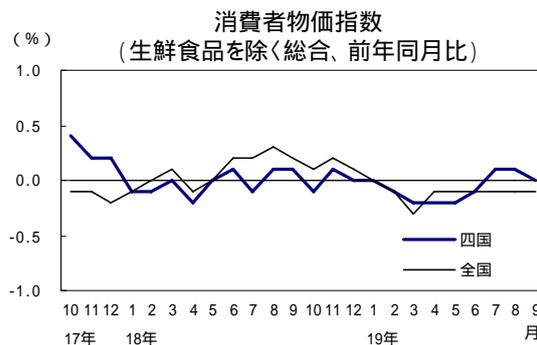
「求人数は、この3か月間前年割れしている。依然として求人意欲は高いが、製造系の技術者の求人を充足できていない企業が多い（民間職業紹介機関）」など、「やや悪くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は上昇に転じている。

企業倒産

	（件、億円、％）				
	18年10-12月	19年1-3月	4-6月	7-9月	19年10月
倒産件数	93	79	106	103	38
（前年比）	43.1	5.3	19.1	7.2	7.3
負債総額	405	1,186	453	306	111.8
（前年比）	276.9	437.3	76.7	30.8	60.5



景気ウォッチャー調査（10月）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

・「客はどこへ行ってしまった」という感じで10月は全くだめであった（一般レストラン）

<先行き>

・前月に続き、大手建設業の倒産による連鎖倒産などがあり、好転するような外的要因が全くない（スーパー）

